

動物たちのために 私たちができること

私たちは生活していく上で、たくさんの生命を犠牲にしています。
でも、犠牲はできるだけ少ない方がいい。
苦しんでいる動物たちのために誰にでもできることがあります。

動物実験をなくすために

動物実験していないメーカー の製品を選んで購入する

あなたは、動物実験をされた化粧品を使っていますか？日本では、化粧品やトイレタリーのメーカーの多くが、いまだに動物実験を行っています。しかし最近では、動物実験をしないメーカーも増えています。動物実験をしていないメーカーの製品を購入しましょう。そして、残酷さのないライフスタイルを周りの人にも提案しましょう。



皮膚の刺激実験を受け激しい炎症を起こしているウサギ



首かせをされ眼に薬品を注入されるウサギ

■ JAVAでは動物実験していない化粧品メーカーを掲載した「JAVAコスメガイド」を、ご希望者に提供中!! (400円+送料)

メーカーに消費者の声を届ける

動物実験は化粧品以外にも日用品や医薬品など、様々な製品で行われています。「動物実験していない製品を買いたい」ということを、そういったメーカーに伝えることが重要です。電話をしたり、メールや手紙を出しましょう。

犬や猫の殺処分をなくすために

「病気になった」「年をとった」「汚くなった」「飽きた」「引越しをする」など勝手な理由で、いとも簡単に命を捨ててしまう飼い主がいます。動物を飼うのなら、終生愛情を持って飼うことは最低限の飼い主の義務です。

犬や猫と暮らしたい人は、里親になろう

犬や猫はペットショップから購入するのではなく、自治体が行っている「譲渡制度」を活用し、捨てられた犬や猫の里親になりましょう。そうすることで、殺処分されてしまう犬や猫を救うことができます。



動物管理センターなどに収容された犬や猫の多くは、二酸化炭素(CO2)によって殺処分されます。これは窒息死であり決して安楽死ではありません。



平成28年度には約7万頭もの犬猫が処分されたのです。

犬や猫には不妊・去勢手術をさせよう

「いつのまにか産まれてしまった」「産まれたけれど飼えない」・・・こんな無責任な飼い主がいるせいで、毎年多くの子犬・子猫が殺処分されています。このような不幸な命をこれ以上増やさないため、飼い犬猫やホームレス猫にも不妊・去勢手術をさせましょう。徹底すれば、殺処分される犬や猫は大幅に減少します(不妊・去勢手術は、病気の予防にもなります)。



JAVA

JAPAN ANTI-VIVISECTION ASSOCIATION
NPO法人 動物実験の廃止を求めの会

動物たちのために 私たちができること

同じ地球に生きる仲間たちのために

毛皮製品や象牙の印鑑を買わない

口と鼻をふさがれ、窒息死させられる。口と肛門から電気を流される。傷がなく高値のつく毛皮をとるために、動物たちはこんな残酷な方法で殺されます。流行にまどわされ毛皮を買うことは、あなた自身が動物の毛皮と命を奪っていることと同じです。

また象牙の印鑑やアクセサリーのために、たくさんのゾウが殺されています。牙を顔ごとそぎ取られ、死体はサバンナに置き去りにされます。日本から象牙の需要がある限り、ゾウの密猟は絶えないのです。あなたにできること・・・それは、毛皮や象牙を使った製品を買わないことです。



毛皮をはがされたキツネ



毛皮をとるために繁殖させられるミンク。狭い檻の中でストレスから共食いすることもあり、苦しみながら短い一生を終えます。



「野生動物を守ろう」の声を届ける

サル、シカ、クマ、イノシシ、カラス、マンガース、アライグマなど、日本では毎年多くの野生動物が、有害鳥獣駆除の名目で殺されています。駆除をしている自治体へ「動物たちを殺さないで！動物と人間が共存できる政策に転換してください」と訴えましょう。多くの声が届けば政策は改善されていきます。また、捕獲されて見世物として飼育される動物もいます。野生動物としての生態はまったく無視され、一生を狭い檻に閉じ込められて過ごすことになるのです。狭く汚い檻で飼われている、水や食べ物が充分でない、やせている、毛並みが悪いなどの動物を見かけたら都道府県に通報してください。

命を大切にする教育を広める

いまだに解剖実習を行っている学校(小中高校など)がありますが、解剖は義務付けられたものではなく、担当の教師の考えひとつですぐにでも止められる授業内容です。生き物を殺したり、切り刻んだりする行為は生徒たちの心を深く傷つけ、悪影響を与えます。「残酷な解剖実習はやりたくない。自然や動物を大切にする教育を受けたい」と学校に伝えましょう。生きた動物を殺さなくても、臓器を忠実に再現した模型やコンピュータソフトなどを利用して、充分学ぶことができます。すでに学校での解剖実習を廃止している国もあります。



動物実験に代わって、獣医学教育の代替法として開発されたネコモデル。人工脈もあり、とても精巧につくられています。欧米では、大学の獣医学部や医学部でさえ、動物実験をしないで卒業できる大学が増えてきました。

JAVAを応援してください！

- ぜひ JAVA の会員になってください。[一般会員6,000円/年、学生会員3,000円/年、他] 入会資料などをご希望の方は、JAVA事務局へご連絡ください。
- JAVAの活動をご支援ください。ご寄付の振込先 [郵便振替:東京 00190-2-670517] [ゆうちょ銀行:〇一九店 当座0670517] 共通名義/JAVA

JAVA NPO法人 動物実験の廃止を求める会
JAPAN ANTI-VIVISECTION ASSOCIATION

〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町29番31号 清桜404
TEL: 03-5456-9311 FAX: 03-5456-1011
URL: <http://www.java-animal.org> E-mail: java@java-animal.org

●JAVAは特定の企業・政党・宗教とは関係のないボランティアの市民団体です。

JAVAは1986年に設立された全国規模の市民団体です。動物実験の実態と、その倫理的・科学的な過ちを広く知らせ、動物実験の廃止を目指す活動を柱に、動物の権利擁護と動物の命を守る活動を活発に行っています。世界100以上の動物保護団体とネットワークを持ち、世界有数の団体で組織された国際動物保護委員会(ICAPO)にはアジア地域で唯一のメンバーとして参加するなど、国内外の動物問題に積極的に取り組んでいます。